

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-522807(P2005-522807A)

【公表日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2003-529453(P2003-529453)

【国際特許分類】

G 11 B 7/003 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/003 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月29日(2005.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アナログ光学サウンド・トラックを再生する方法であって、

a) 前記アナログ光学サウンド・トラックを表すディジタル画像信号を形成するステップと、

b) 前記アナログ光学サウンド・トラックを、1ビットよりも大きい範囲の階調値として表すステップと、

c) 前記ディジタル画像信号を記憶するステップと、

d) 前記記憶されたディジタル画像信号の一部分を選択的に処理して、前記階調値を1ビットの解像度で表すステップと、

e) 1ビットの解像度の前記階調値の表現を決定するしきい値を調整しながら、得られる画像を表示および評価するステップと、
を含む、前記アナログ光学サウンド・トラックを再生する方法。

【請求項2】

前記表示および評価するステップが、1ビットの解像度の前記階調値から形成された音響信号を聞いて、前記しきい値を調整するステップを含む、請求項1に記載のアナログ光学サウンド・トラックを再生する方法。

【請求項3】

前記表示および評価するステップが、前記ディジタル画像信号中にある表示された欠陥を除去するステップを含む、請求項1に記載のアナログ光学サウンド・トラックを再生する方法。

【請求項4】

前記表示および評価するステップが、前記アナログ光学サウンド・トラックの包絡線形状をほぼ保存するステップを含む、請求項1に記載のアナログ光学サウンド・トラックを再生する方法。

【請求項5】

アナログ光学サウンド・トラックの再生から生じる一時的雑音を除去する方法であって、

a) 前記アナログ光学サウンド・トラックを、1ビットよりも大きい範囲の階調値で表すディジタル画像信号を形成するステップと、

b) 前記ディジタル画像信号を記憶するステップと、
c) 前記記憶されたディジタル画像信号の一部を空間的画像として形成するステップと

、
d) 前記空間的画像の前記階調値を 1 ビットの解像度で表すステップと、

e) 前記空間的画像内の单一の 1 ビット階調値が、前記空間的画像の残りの 1 ビット階調値と等しいかどうかを評価し、等しくない場合は前記单一の 1 ビット階調値を反転させるステップと、

を含む、前記アナログ光学サウンド・トラックの再生から生じる一時的雑音を除去する方法。

【請求項 6】

前記記憶されたディジタル画像信号中の隣接する部分から形成された空間画像で、前記ステップ c) 、 d) 、 e) を繰り返すステップを含む、請求項 5 に記載のアナログ光学サウンド・トラックの再生から生じる一時的雑音を除去する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】アナログ光学サウンド・トラックを再生する方法、およびアナログ光学サウンド・トラックの再生から生じる一時的雑音を除去する方法